

目 次

CQ, 推奨一覧	000
フローチャート 1 卵巣癌の治療	18
フローチャート 2 上皮性境界悪性卵巣腫瘍の治療	19
フローチャート 3 再発卵巣癌の治療	20
フローチャート 5 悪性卵巣胚細胞腫瘍の治療	21
フローチャート 6 性索間質性腫瘍の治療	22
本ガイドラインにおける基本事項	23
I 進行期分類	23
II リンパ節の部位と名称	28
III 組織学的分類	31
IV 治 療	37
V Oncofertility	46
VI 緩和ケア	46
第 1 章 ガイドライン総説	50
第 2 章 卵巣癌・卵管癌・腹膜癌	57
総 説	57
CQ 01 I 期から II A 期と考えられる患者に対して, どのような staging laparotomy が奨められるか?	65
CQ 02 術前に卵巣癌 II B 期以上と考えられる患者に対して, primary debulking surgery は奨められるか?	68
CQ 02-2 II B 期以上と考えられる患者に対する初回手術で, 骨盤・傍大動脈リンパ節郭清(生検)は奨められるか?	72
CQ 03 初回手術(PDS)で suboptimal surgery となった進行卵巣癌に対して, interval debulking surgery (IDS) は推奨されるか?	75
CQ 04 妊孕性温存を希望する患者に, 温存治療は奨められるか?	77
CQ 05 BRCA1 あるいは BRCA2 病的バリエーション保持者に対して, risk-reducing salpingo-oophorectomy (RRSO) は奨められるか?	80
CQ 06-1 卵巣癌に対して, 開腹手術の代わりに腹腔鏡下手術は奨められるか?	83
CQ 06-2 腹腔内播種を有する卵巣癌と考えられる患者に対して, 診断目的の腹腔鏡は奨められるか?	86
CQ 07 術式を決定するために, 術中迅速診断を行うことは奨められるか?	89
CQ 08 術後に卵巣癌と判明した患者に対して, 追加治療は奨められるか?	91

CQ 09	初回薬物療法を行う場合、どのようなレジメンが奨められるか？	94
CQ 15	初回手術とその後の化学療法で完全寛解が得られた場合、維持療法は奨められるか？	99
CQ 16	初回治療により腫瘍が残存した場合、追加治療は奨められるか？	102
CQ 10	初回化学療法としてパクリタキセルとカルボプラチン併用療法以外のレジメンは奨められるか？	105
CQ 11	卵巣癌Ⅰ期症例に対して、術後化学療法の省略は奨められるか？	107
CQ 12	組織型別に化学療法のレジメンを変更することは奨められるか？	111
CQ 13	進行例に対して初回化学療法を行う場合、腹腔内化学療法は奨められるか？	114
CQ 14	進行例に対して、術前化学療法 neoadjuvant chemotherapy (NAC) + interval debulking surgery (IDS) は奨められるか？	117
CQ 17	化学療法による過敏性反応 (HSR) が生じた場合、同一あるいは同系統の薬剤の投与は可能か？	120
CQ 19	治療後の経過観察で推奨される間隔は？	124
CQ 20	治療後の問診、内診、腫瘍マーカー測定、画像検査は奨められるか？	127
CQ 21	経過観察中に無症状で CA125 が上昇した場合、治療は奨められるか？	131
CQ 22	卵巣癌治療中や治療終了後にホルモン補充療法 (HRT) は奨められるか？	133

第3章 上皮性境界悪性腫瘍 136

総説	136	
CQ 23-1	片側付属器摘出術後に境界悪性腫瘍と判明した場合、追加手術は奨められるか？	141
CQ 23-2	腫瘍摘出術後に境界悪性腫瘍と判明した場合、どのような妊孕性温存治療が奨められるか？	144
CQ 24	上皮性境界悪性腫瘍症例に、術後化学療法は奨められるか？	146
CQ 25-1	上皮性境界悪性腫瘍治療後は、長期間の経過観察が奨められるか？	148
CQ 25-2	上皮性境界悪性腫瘍治療後の再発に対して、手術は奨められるか？	150

第4章 再発卵巣癌・卵管癌・腹膜癌 152

総 説	152
CQ 26 プラチナ製剤抵抗性再発で推奨される薬物療法のレジメンは？	155
CQ 27 プラチナ製剤感受性再発で推奨される薬物療法のレジメンは？	158
CQ 28 再発症例に対して手術療法は奨められるか？	162
CQ 29 再発症例に対して放射線治療は奨められるか？	165
CQ 30-1 腸閉塞に対して薬物療法、手術療法は奨められるか？	168
CQ 30-2 腹水貯留に対して腹腔穿刺ドレナージ、薬物療法、手術療法は奨められるか？	171
CQ 30-新規 3rd ライン以降の化学療法が検討される患者に対して、化学療法をさらに 行うことは奨められるか？	173

第6章 胚細胞腫瘍176

総 説 176

CQ 35-1 悪性卵巣胚細胞腫瘍に対して腫瘍減量手術は奨められるか？ 179

CQ 35-2 悪性卵巣胚細胞腫瘍に対して妊孕性温存手術は奨められるか？ 181

CQ 36 悪性卵巣胚細胞腫瘍に対して術後化学療法は奨められるか？ 183

CQ 37 悪性卵巣胚細胞腫瘍の初回化学療法後の再発例に対して化学療法，手術療法，もしくは放射線治療は奨められるか？ 186

CQ 38 悪性卵巣胚細胞腫瘍に対する抗がん剤治療後の経過観察で注意すべき点は？ 189

第7章 性索間質性腫瘍192

総 説 192

CQ 39-1 性索間質性腫瘍に対して腫瘍減量手術は奨められるか？ 195

CQ 39-2 性索間質性腫瘍に対して妊孕性温存治療は奨められるか？ 197

CQ 40-1 性索間質性腫瘍に対して術後化学療法，もしくは術後放射線療法は奨められるか？ 199

CQ 40-2 性索間質性腫瘍の初回化学療法後の再発例に対して化学療法，手術療法もしくは放射線療法は奨められるか？ 201

CQ 41 性索間質性腫瘍治療後の経過観察で留意すべき点は？ 203

第8章 資料集205

I 略語一覧 205

II 日本婦人科腫瘍学会ガイドライン委員会業績 208

III 既刊の序文・委員一覧 211

索引 000